

海賊対策のため東南アジアへ海上保安庁航空機を派遣します ~カンボジア王国への初めての派遣~

海上保安庁は、東南アジア海域等における海賊対策として、同海域沿岸国の海上保安機関に対して法執行能力向上支援を実施するとともに、連携・協力関係の構築推進に取組んでおり、その一環として、12 月5日(月)に海上保安庁の航空機をカンボジア王国及びタイ王国へ派遣します。

※ 海上保安庁では、海賊等緊急事案発生時に迅速かつ的確に対応するための国際飛行能力の維持・向上及び巡視警戒を目的として、平成 13 年から東南アジア各国へ航空機を派遣しています。

今回は、カンボジア王国及びタイ王国へ派遣するもので、派遣国では、関係機関 との間で海賊対策や法執行能力向上支援を含む海上保安に係る意見交換を実施 し、更なる連携・協力関係を推進していくこととしています。

なお、当庁航空機のカンボジア王国への派遣は初めてであり、タイ王国への派遣 は平成22年2月以来6年ぶり6回目の派遣となります。

1. 派遣航空機

第十一管区海上保安本部那覇航空基地所属ファルコン 900「ちゅらわし」



全長 20.2 メートル 全高 7.5 メートル 全幅 19.3 メートル 速力 501 ノット

2. 派遣者

金子 英幸 海上保安庁総務部参事官(警備救難部担当) 他 14 名(搭乗員含む)

- 3. 派遣国(寄港地)
 - (1) カンボジア王国(プノンペン)
 - (2) タイ王国(バンコク)

4. 日程等

- 12月5日 那覇発、プノンペン着
- 12 月6日 カンボジア国家警察海上警察部、薬物対策部への表敬訪問及び 意見・情報交換
- 12 月7日 プノンペン発、バンコク着
- 12 月8日 タイ海上警察、海事局への表敬訪問及び意見・情報交換
- 12月9日 バンコク発、那覇着